

公表

事業所における自己評価総括表 いるか

○事業所名	放課後等デイサービス ゆうゆう いるか			
○保護者評価実施期間	2025年 1月 9日		～	22025年 1月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数)	13
○従業者評価実施期間	2025年 1月 9日		～	2025年 1月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 29日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	施設内を子どもにも大人にも視覚的に分かりやすく構造化している。	予定等をイラストを使って誰にでも分かりやすく提示している。また、おもちゃ等の置き場所もイラストや写真を張ることでいつも同じ場所に片づけることができる。	視覚的に支援がいる方に対する支援方法を検討していく
2	職員数を確保し、目が行き届きやすい。個別の対応も必要に応じてできている。	子ども同士のトラブルに事前に対応し、回避できるようにしている。また、起きてしまったときは、個別に双方の話をしっかり聞き、問題解決に取り組んでいる。	指導員皆が問題解決できるように、職員のスキルアップを目指している。
3	清潔で明るい生活空間。トイレが広い。	子どもたちが気持ちよく過ごせるように、日々掃除を徹底し、おもちゃなどの遊具もチェックしている。年度ごとに利用児童に合わせて環境を考えている。トイレが広く、トイレ介助がしやすい。	利用児童に合わせた工夫をしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	奥の部屋が音が反響する。	活動部屋に設定しているので、部屋に物が少ないため、余計に反響するのかもしれない。	吸音材を設置する、物を置いて活動部屋を変更する、などの工夫を検討していく。
2	収納スペースが少ない。	安全に活動できるように環境設定しているため棚や収納用品を置くことができない。	隣の事務所を収納場所に利用しているが、安全を確保しつつ棚の設置を検討したい。
3			

公表 事業所における自己評価結果 いるか

事業所名		放課後等デイサービス ゆうゆう いるか		公表日		2025年 1月 29日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0			
	3	エグゼクティブ、サービス提供スタッフ、情報化その他関係にあるか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	日々の予定を分かりやすく提示し、おもちゃ等の置き場所も写真やイラストを用いて分かりやすく示している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1			部屋数が少ないため、個々の空間を確保できていない。パーティションで仕切るなどして必要に応じ確保できるようにし
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	月に一度会議を開催し、職員間で課題を話し合っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	年間計画を立てて、研修を実施している。内容についても希望を聞いている。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	作成し、事業所内に公表している。	今後、ホームページを作成し、広くみんなに開示していく予定。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	半年に一度、関わりのある職員が出席し、アセスメント、会議を行っている。必要に応じて、適時実施もする。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童福祉法及び管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0			
	15	こどもの認知行動の観察や、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	5領域も踏まえた上で、支援内容を設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0		固定化しないように工夫はしているが、さらに改善していく必要がある。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	利用人数に応じて、日々の活動を設定し、空間的に無理のないように工夫している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	開始時に一日の流れ等の確認と打ち合わせを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	送迎後、職員間で必要な連絡を行い、振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	6	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	自分で決めて活動できるように、活動内容を複数準備している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0		現在、卒業から移行する児童がいないため行われていないが、必要に応じて情報提供していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1		連携を深めていく必要がある。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	0		1年に1、2回程度なので、さらに交流の機会を増やしていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎時に行っている。また、必要に応じて面談を実施している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1		保護者交流会を開催している中で、今後、講演会や研修会も開催を検討していきたい。
保	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時に説明を行っている。その後も、希望に応じて適時行う。	
	37	放課後等デイサービス提供や研修の際には、こどもの保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	0	定期的に保護者会を開催している。参加者が増えるように時期、内容を検討している。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0		今後、ホームページを作成し、情報発信していく予定。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1		行事に地域の方を招待し、地域に根付いた事業を目指している。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		現在、食物アレルギーの児童がいないためしていないが、必要に応じて対応していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0			